

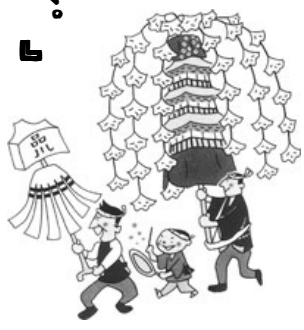
本住寺便り ～平成二十八年錦秋号～

平成二十八年十月発行

『世間の定めなき事は病なき人も留りがたき事に候へば、
まして病あらん人は申すにおよばず。』

但し心あらん人は後世をこそ思ひさだむべきにて候へ。』

(高祖日蓮聖人・南条兵衛七郎殿御書)



宗祖日蓮大聖人も病を得て、身延山を出られて静養に向かう途中、関東の池上の地で
ご入滅になり、今年で第七三五回の法要を迎えます。

これはその約二十年前のお手紙で、信者の南条兵衛七郎に、彼が病氣であると聞いて、
病に悩む者の心構えを説かれたものです。

私たちは病床にあつて死に直面した場合、どのような考えを持ち、どう受けとめ、や
がて心安らかに死を迎え入れるのでしょうか。聖人は「生死の道」を求め、その答えを探
し続けられました。私たちもその境地を得ることができたら、人生はもつと楽になるで
しょう。生死の渦に巻かれて人生を終えるのでは、わびしい一生です。今生はこれきり
ですが、魂は永遠に続くということを体得できるなら、病や死を恐れず「今を生きる」
ことができるはずです。

ところで「たかが人生されど人生」といいますが、「されど」と思って生きていると疲
れてしまい、周りが見えなくなりませんか？ そこで「たかが」という感じで生きては
如何でしょう。

人間は裸一貫で生まれ、いずれ死んでしまいます。所詮大した器や才能があるわけ
もないのに「されど人生」と肩肘張って生きてても疲れるだけかもしれません。勿論それ
も大事なことです。が、せめて少しは自分の中に「たかが人生」というゆとりがあれば、
失敗してもやり直せますし、たとえ病氣になったとしても周りを見渡す余裕と優しさが
生まれるのではないのでしょうか。

そうなれば、今日一日を喜び、生命があることに感謝できます。心の平安な状態を保
てるのが人生の成功でしょう。毎日の生活に期待感をもって臨み、事足りているとい
う謙虚な充足感をもち、結果がどうであろうと満足感で締めくくるといふ生き方が大切
です。生きる力を磨き人生をより明るいものとしましょう。

◆ 御会式 高祖日蓮聖人・第七百三十五回忌

平成二十八年十一月十一日(金) 午後六時半より

御会式とは、日蓮聖人のご命日(十月十三日)を中心に、全国の日蓮宗寺院で催される報恩謝
徳の法要のことで、本住寺では、旧暦の十月十二日のお逮夜(今年は十一月十一日)に宗祖御入
滅をしのぶ『御会式』法要を執り行います。御会式の法要では、日蓮聖人に報恩の誠を捧げ、あ
わせて檀家各家の先祖代々の供養と家内安全・心身健全の祈願を致します。

末法の世に釈尊の教えの神髄ともいふべき『法華経』をお広めになった宗祖への報恩感謝の気
持ちこそが、ご先祖さまへの供養につながっていきます。

当日は、粗餐(けんちん汁とお赤飯)の用意もございしますので、是非ともご参詣下さいますよ
うご案内申し上げます。

◆ ヨイキゲン 秋の蔵開き 〓酒蔵に遊びに行こう！

平成二十八年十月二十二日(日) 午前十時～午後四時

本住寺の総代さんでもある日本酒の酒蔵・ヨイキゲンさんによる恒例イベント、秋の蔵開きが開催されます！ 熟成され美味しくなった日本酒の試飲販売や酒蔵見学、飲食・物販コーナーをはじめ、酒蔵ライブや空くじなしの抽選会等、とっても楽しいイベントとなっているみたいです。そんな楽しい蔵開きイベントに、本住寺から『こぢようこカフェ』として出店することとなりました！ 住職が心を込めて御祈禱した小豆を炊いた『開運ぜんざい』を200食限定でお出ししておりますので、是非ともお立ち寄りください。お待ちしております！

◆ お焚き上げ 平成二十八年十二月十一日 午前十時

年の瀬も押し迫った頃、本住寺では古くなった卒塔婆や一年間お祀りされたお札等を、感謝の気持ちを含めて法味言上した上でお焚き上げいたします。お困りの方は、前日(十二月十日)までに、お気持ちを添えてお寺へお納めください。

◆ 新春祝禱会 〓新年初祈禱のご案内〓

平成二十九年一月五日〓九日 午前十時より随時

新しい年を迎えた本住寺では、一月五日より新年のお経をしております。年の始めに菩提寺に参詣することは、一年がよい年であるようにと御本尊さまにお祈りするとともに、『先祖さま(歳神さま)に感謝を捧げる大切な節目となります。』

最上稲荷で頑張る住職に代わり、妙紀が皆様の一年の無事を祈る御祈禱をし、開運茶と温かいおぜんざいををご用意してお待ちしておりますので、『ご家族やご近所の皆様とお誘い合わせの上、どうぞご参詣くださいませ！』

◆ 本住寺 信行会 ***命に合掌***

* 信行唱題会 毎月第2火曜日 午後2時より

* 観音経写経会 毎月第3土曜日 午前9時～午後7時の間、随時。

本住寺では、日常生活の中で楽しく手を合わせる事が出来るよう、月に一度、お題目を唱えることを中心にお経や太鼓の作法を楽しく実践する『信行唱題会』と、本堂で心静かに観音経をお写経する『観音経写経会』を開催しております。御宝前の仏さまに手を合わせて、お経やお題目を通して神仏やご先祖さまの存在を身近に感じ、楽しい毎日を過ごすきっかけとしてはいかがでしょうか？

初心者歓迎！ どなたさまでもご参加いただけます。必要な道具等はお寺に揃っておりますので、興味がある方は是非お気軽にお越しください。

本住寺 妙見山本住寺

倉敷市真備町服部一五八七

☎ 〇八六(六九八)九七七〇

🌐 <http://www.honjuzi.com/>

* 仏事に関すること等でお悩みやお困り事等がございましたら、お気軽にご相談ください。
* 法事のご予約はお早目にお願いたします。お寺の都合により、ご希望される日時でもお受けできない場合がございますので、ご了承ください。